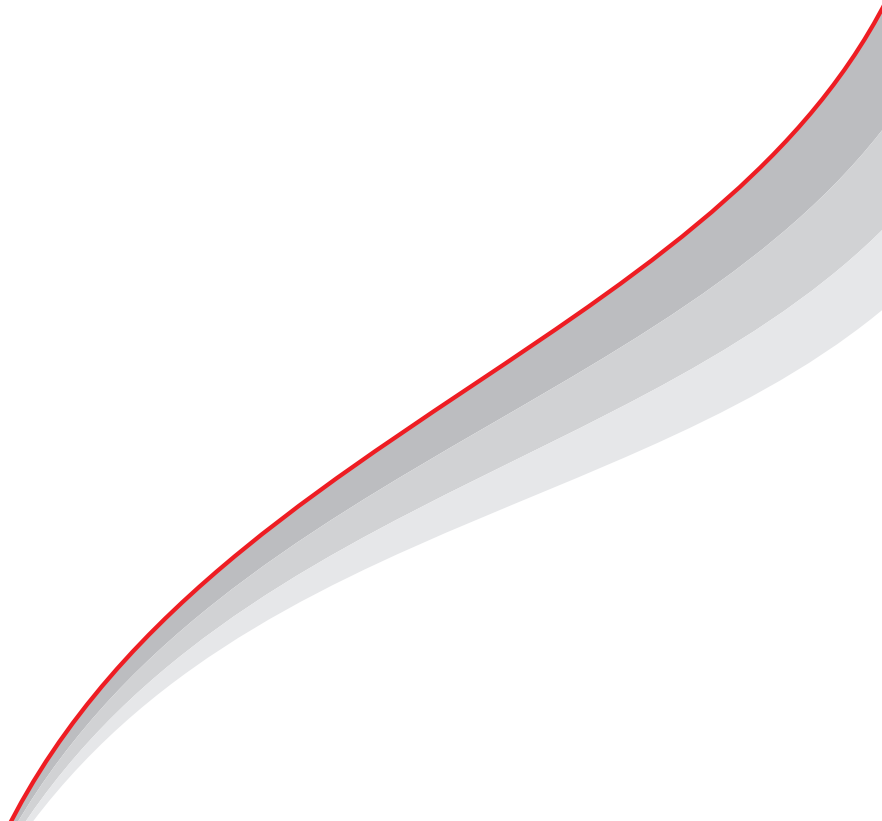


## CORPORATE PROFILE

---

会社概要



# 島津製作所の原点

初代島津源蔵が日本の進むべき道は科学立国であるとの理想に燃え、「理化学器械の国産化と普及を通じて社会に貢献したい」という思いで事業を起こしたのが島津製作所の始まりです。その思いは社是「科学技術で社会に貢献する」となり、今も島津グループの一人ひとりに受け継がれています。

明治維新のころ、西洋の最新技術を導入することで京都の復興を目指そうと、後に島津製作所創業の地となる京都木屋町二条周辺には、さまざまな産業施設が設立されていきました。その近辺で技術導入の拠点となっていたのが舎密局(せいみきょく)です。舎密局に足繁く通っていた初代島津源蔵は、ドイツ人科学者ゴットフリート・ワグネル博士と出会い、その後3年にわたり西洋の科学技術の教えを受けることになります。外国製品の構造やその裏にある理論を学び取っていった源蔵は、やがて、日本を科学立国へと発展させることを夢見て、教育現場用の理化学機械の製造業を始めます。時は1875年。これが島津製作所の歴史の始まりでした。



ゴットフリート・ワグネル博士



舎密局



## SHIMADZUの礎を築いたふたりの源蔵

### 科学立国を夢見て、明治初期に有人軽気球飛揚を実現させた初代源蔵



初代 島津源蔵

初代源蔵は仏具職人として江戸時代末期より、木屋町二条で事業を営んでいました。明治になると廃仏毀釈の波が押しよせ、その地が、京都近代化の中心地となっていきます。辺りに漂う西洋技術や先端科学の薫りに目覚めた初代源蔵は、仏具製造の事業から転じて、1875年、三十代半ばにして後の島津製作所となる教育用理化学器械の製造工場を創業します。そして創業3年目の1877年、「理化教育に対する府民の関心を一層高めるために、人を乗せた気球を上げたい」と京都府からの依頼が舞い込みます。西欧の絵で見たことがあるくらいで、役立ちそうな資料もほとんどないなか、源蔵は試行錯誤を重ねます。開催日の12月6日、円形に並べた酒樽の中で鉄くずに希硫酸を注いで発生させた水素ガスが、鉄パイプで繋いだ中央の大樽を介してバルーンに充填されていきます。4.8万人の見物客が見守るなか、軽気球は浮き上がり、約36mの高さまで上昇しました。この実験の成功は、多くの人々に島津の技術力を知ってもらう機会となりました。



1877(明治10)年 軽気球飛揚に成功

### 178件もの発明考案を果たし、SHIMADZUを飛躍させた二代源蔵



二代 島津源蔵

二代源蔵は、多くの新技術の開発と発明考案に全力を注いだ人物です。レントゲン博士がX線を発見したわずか11か月後の1896年にはX線写真の撮影に成功し、1909年に国産初の医療用X線装置を開発しました。また1930年には、日本の発明界に偉大な業績を残した十大発明家の一人に選ばれます。それは、当時生成できなかった鉛の粉末化を可能にした発明「易反応性鉛粉製造法」が評価されたものでした。その製造法は、乾電池や蓄電池の製造をはじめ多くの産業を躍進させる突破口になりました。晩年の二代源蔵が語った「学理を教えられたらその応用を考えなくてはならない」という技術者としての信念は今もなお島津製作所の中にしっかりと受け継がれています。



1896(明治29)年 初期のX線写真



1895(明治28)年ごろの島津製作所(木屋町本店)

# 島津製作所 価値創造の歴史

「科学技術で社会に貢献する」という社是のもと、より便利で安心・安全な社会の実現に貢献してきた島津製作所。

これからもお客様から寄せられる要望、そしてその先にある社会の課題解決に引き続き、

進化、成長を続けていきます。



## 1882 理化学器械の普及・発展

### 最先端の教育器械を提供

1882年発行の商品カタログ「理化学器械目録表」には110点もの物理器械などが掲載されています。



## 1897 安定的な電力供給の必要性

### 蓄電池の工業生産を開始

当時輸入品に依存していた蓄電池の試作品を京都帝国大学の依頼で製作しました。1904年に据置用蓄電池の製作に成功しました。



## 1909 日本初 医療機器の発展・普及

### 医療用X線装置を完成

国産最初の医療用X線装置を完成。その2年後には、交流電源を用いた大型医療用X線装置を製造し、大津日赤病院へ納入するなど、日本の医療用X線装置の黎明期をリードしました。



## 1956 日本初 石油精製業の活性化

### ガスクロマトグラフを開発

日本初のガスクロマトグラフを完成。翌年には商品化に成功し、先進的な製品として国内の石油会社に納品されました。同装置は日本化学会にも出品されて注目を集め、勃興期にあった日本の石油化学産業の発展に貢献しました。



## 1967 自動車の安全性向上

### 疲労試験機1号機を製造 自動車メーカーに納入

自動車メーカーの求めに応じて開発した走行シミュレーター。走行データを早送り再生する加速試験も可能で、耐久性向上試験の効率化に貢献しました。



## 1961 世界初 放射線の被ばく低減

### 遠隔操作式X線TV装置を開発

別室での操作により、医師や放射線技師の被ばくを低減しました。



## 1978 日本初 医薬品の安全性・有効性

### モジュラー構造の液体クロマトグラフを完成

当時の日本市場にはなかった新しいポンプ方式を採用することで、分析精度や操作性が飛躍的に向上。モジュラー構造を採用することによって多様な要求に対応できるようになりました。医薬品の安全性・有効性の確保を求める製薬産業で本格的な研究開発活動に貢献しました。



## 2002 社員によるノーベル賞受賞

### 田中耕一※ ノーベル化学賞受賞

開発したソフトレーザー脱離イオン化法は、タンパク質などの質量の大きな生体高分子を壊すことなくイオン化し、精密に質量を分析できる手法として、病気の早期発見や新薬開発などに活用されています。

※現エグゼクティブ・リサーチフェロー

## 2010 日本初 臨床検査医学の進展

### 国産初ハイエンドの液体クロマトグラフ質量分析装置を開発

高速液体クロマトグラフ質量分析装置のリーディングカンパニーとして、新生児マススクリーニングや血中の薬物動態モニタリングなど臨床分野での活用を拡大しています。



## 2020 COVID-19の感染拡大

### 全自動リアルタイムPCR検査装置及び新型コロナウイルス検出試薬キットを開発

検体の前処理から測定、解析までをシームレスで自動化し、PCR検査の迅速なワークフローを実現しました。



## 2025 標準化への取り組み

### 次世代の時間計測技術の実用化へ

将来の社会基盤となる可能性を秘めるストロンチウム光格子時計を商品化しました。



## 2026 カーボンニュートラルの実現に向けた新エネルギー開発

### 世界最高クラスの感度を持つ検出器を搭載したガスクロマトグラフを開発

高い感度と使いやすさで、エネルギー分野や化学、医薬、食品、環境分析など幅広い分野に対応します。



## QOLの向上

- 健康寿命を延ばす
- 科学技術の振興

## 2021 世界初 乳がん診療・認知症研究を支える

### 頭部と乳房の検査に特化したTOF-PET装置を開発

乳房を挟まない痛みの少ない検査装置で、乳がん診療に寄与します。脳の検査も行え、認知症研究にも貢献します。



## 高度経済成長

- 自動車産業の発展
- 医療保険制度の充実による医薬品産業の発展

## 戦後からの復興

- 医療基盤の整備と量的拡充
- 石油・化学産業の発展

## 文明開化

- 海外の近代科学の導入
- 近代的な生活様式への変化



京都の木屋町二条に創業

設立(株式会社化)

売上高推移 ※1999年度までは単体、2000年度からは連結ベースで記載している。

# 世界のお客様とともに 科学技術でイノベーションを創出し、 社会課題の解決にとりくみます

島津製作所は「科学技術で社会に貢献する」を社是とし、創業以来150年以上にわたり事業を展開してまいりました。当社が提供する分析・計測機器や産業機器、航空関連機器は、多くの産業分野で広く採用いただき、お客様の事業を通して社会の安全、安心を守り、利便性を向上させる役割を果たしています。また、医療機関における診断、治療、健康測定や、新薬の開発を支援する機器は、健康な日々を過ごしたいという人々の願いを支える大切な役割を担っています。

私たちが微力ながらも社会に貢献し続けることができた理由、私はそれを、お客様が解決したい課題に向き合い挑戦を続けてきたことにあると考えています。気体から液体、固体まで、遺伝子もタンパク質も、およそあらゆる物の性質を「分けて見る」ための技術を磨いてきました。また、モノづくりの鍵となるデバイスの開発や新技術の創出にも繰り返しチャレンジしてきました。その積み重ねが多様性に富んだ技術の宝庫を築き上げ、お客様から課題を寄せられた際に、いち早くSolutionを見出すことにつながったのだと考えています。

社会は今、過去に経験したことのないほどの勢いで変化を続けています。パンデミックや地球温暖化、少子高齢化など、絶え間なく課題が生まれてくる中で、私たちは積極的にその解決に挑もうと決意を新たにしています。社会と地球の声なき声に耳を澄ませ、私たち自身が解決に向けて立ち上がり、世界のお客様とともに新たなイノベーション創出に取り組む。これこそ「科学技術で社会に貢献する」ことを社是に掲げる私たちの使命です。

島津は、これまでの技術と知恵を受け継ぎながら、もう一段高いレベルへとシフトします。これからの島津にどうぞご期待ください。

代表取締役 社長 **山本 靖 則**



## ヘルスケア領域

人の命と健康への貢献

## グリーン領域

地球の健康への貢献

## インダストリー領域

産業の発展への貢献

## マテリアル領域

材料開発・生産革新への貢献



目指す姿

プラネタリーヘルスの追求

## 社是

科学技術で社会に貢献する

## 経営理念

「人と地球の健康」への願いを実現する

## 事業領域と分野ごとの 取り組みテーマ

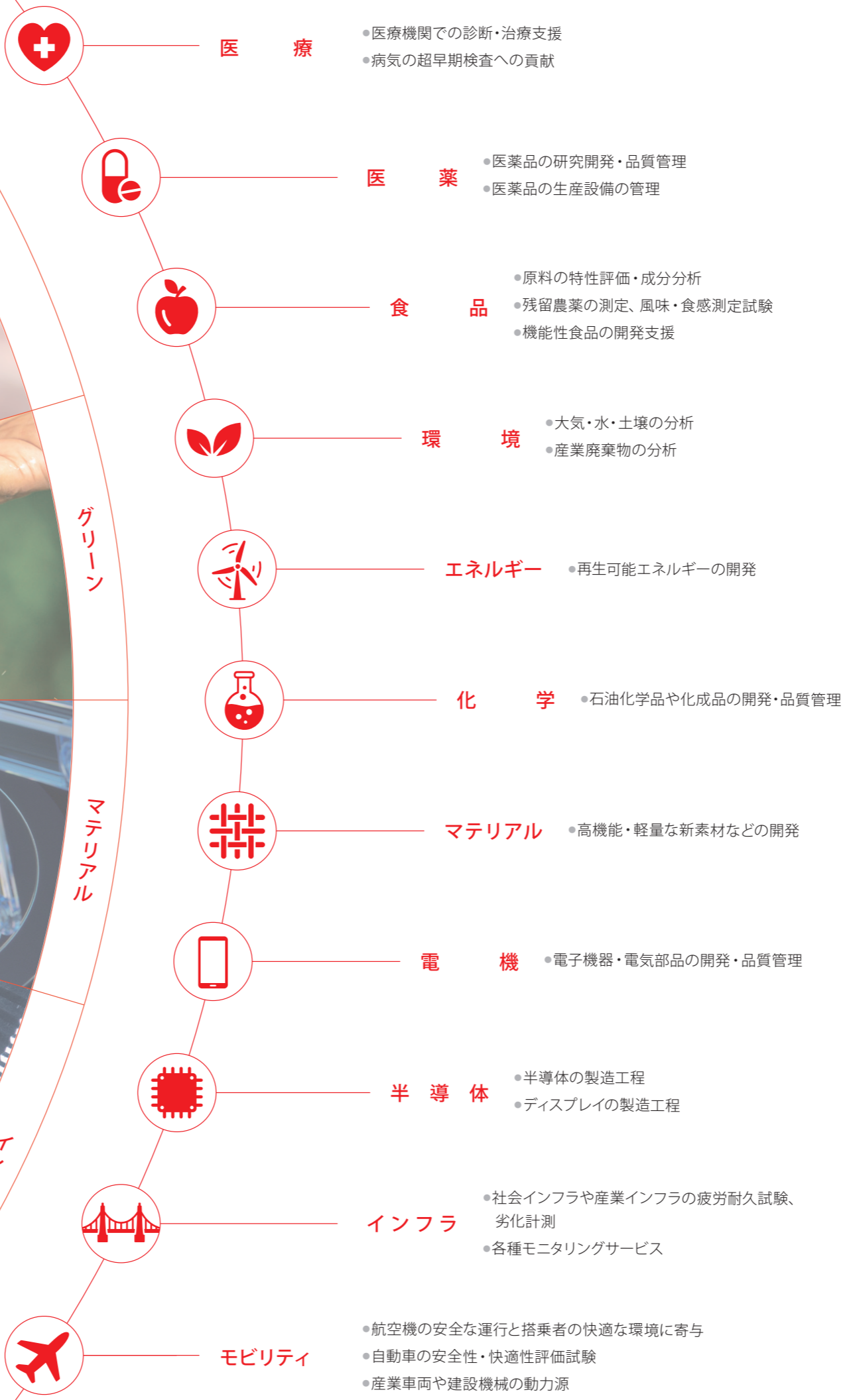
プラネタリーヘルス(人と地球の健康)を  
叶えるため、  
さまざまな分野で社会課題の解決に  
貢献しています。

ヘルスケア

グリーン

マテリアル

インフラ



## 事業セグメント

### 計測機器

最先端の分析計測技術で、さまざまな分野での研究開発および調査・試験・品質管理などに幅広く貢献しています。

### 医用機器

医療現場の課題に向き合い、診断や治療を高精度に支援する機器・システムで、人々の健康の維持・向上に貢献しています。

### 産業機器

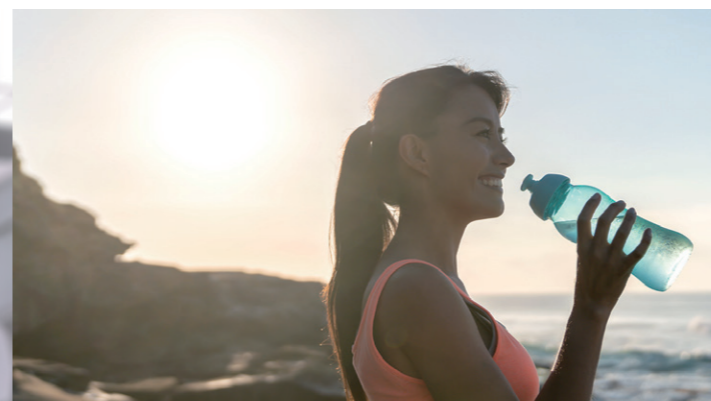
高精度な製造装置や検査機器を開発することで、先端産業分野における次世代のモノづくりを支えています。

### 航空機器

搭乗者の「安全、快適、負荷軽減」を実現する、さまざまな機器・システムを開発し提供しています。

# 計測機器

ヘルスケア、グリーン、  
マテリアル領域などにおいて、  
高度な分析計測技術を軸とした  
ソリューションを提供。  
多様なお客様と手を組み、  
最先端の研究開発や品質管理、  
次世代のモノづくりを支えています。



## 新エネルギー分野での不純物分析、 品質評価

試料に含まれる微量成分を高精度に測定できます。新エネルギーの水素やバイオ燃料をはじめ、環境、医薬、食品、化学、電子機器など幅広い分野で活躍しています。



ガスクロマトグラフ質量分析計



ガスクロマトグラフ

## 排水中の窒素・リンの 濃度管理

河川等へ排出される  
窒素およびリンの濃  
度を測定できます。  
クラウド上で排水情  
報を常に監視するこ  
とができ、水質総量  
規制対応に活躍して  
います。



オンライン全窒素・全リン計

## 土壌、水、大気などの環境試料の 微量元素分析

試料に含まれる低い濃度の元素まで検出で  
き、同時に多くの元素を分析できます。環境  
試料の他、食品、医薬品など幅広い分野で使  
用されています。



ICP質量分析計

## 環境水中の マイクロプラスチックの分析

赤外光を利用してマイクロプラスチックの  
定性分析ができます。その他、食品、  
医薬品、電子部品などに付着した微小  
異物の定性分析も可能です。



海岸で採取した  
マイクロプラスチック



マイクロプラスチック  
自動前処理装置



フーリエ変換赤外分光光度計



## 病気の早期検査や 医薬品開発

液体中に存在する極めて微量な成分の種類や量を測定できます。血液や尿などに含まれる  
代謝物や薬効成分を調べることで、がん・認知症のスクリーニングや医薬品の効果確認など  
への応用が期待されています。



高速液体クロマトグラフ質量分析計



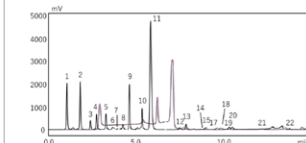
## 食品の機能性成分や安全性、 医薬品の含有成分分析による 品質管理

食品や製薬などの幅広い分野において、研究開発から品質管理まで幅広い用途で使用  
されています。例えば、アミノ酸を迅速に測定することで、食品の美味しさや品質などの  
評価に役立っています。



高速液体クロマトグラフ

■ 抹茶の旨み成分の分析例



## 医薬品製造工程の 洗浄バリデーション

水、ガス、固体内の有機体炭素の総量を測定できます。環境調査や医薬品の品質  
管理、プロセス管理などの多彩なニーズ  
に応えます。



全有機体炭素計

## 各国薬局法による医薬品および 原料の確認試験

日本や米国・EUなどの薬局法に基づいた  
確認試験に多く利用されています。また、  
光学材料、半導体、大学や官庁など幅広い  
分野で利用されています。



紫外可視分光光度計



## 次世代自動車の各種材料の 強度評価

ゴム、プラスチック、金属などの素材から食品、医薬品、電子  
部品やEV、PHV、FCVなどの次世代自動車に至るまであらゆる  
対象物の強度試験ができます。製品開発・品質管理の現場で  
幅広く活躍しています。



自動車シート  
実物シミュレーション試験



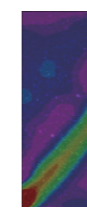
精密万能試験機

## 高速度撮影による先端材料の 挙動観察

最高2,000万コマ/秒の超高速撮影による瞬間の  
挙動を可視化できます。材料破壊、流体力学、燃焼、  
スポーツサイエンスなど、幅広い分野で活用されて  
います。



高速度ビデオカメラ



撮影例：CFRPの  
高速引張試験におけるDIC解析  
撮影速度：2,000万コマ/秒

## リチウムイオン電池など 工業製品の内部観察

X線を用い、非破壊で内部状態を解析・検査が  
できます。電子部品や充電電池、CFRP/CFRTP等の高機能素材  
まで多彩な工業製品に対応します。



マイクロフォーカス  
X線CTシステム



リチウムイオン電池の撮像例

## RoHS指令 規制対象元素の スクリーニング

非破壊で固体、粉体、液体などに含まれる元素の種  
類や量を測定できます。自動車・電気/電子機器など  
さまざまな材料・物質のスクリーニング検査に利  
用されています。



蛍光X線分析装置



電子部品(コネクタ)の分析例

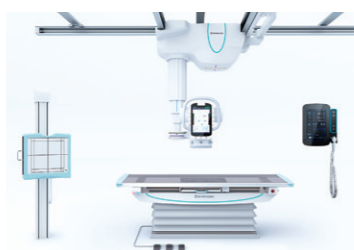
# 医用機器

最先端の画像処理技術やAI技術を活用し、医療現場や患者の負担を軽減する医療システムを提供。世界中の医療現場で感染症や脳/心疾患、がんなどさまざまな疾病の早期発見・早期治療に貢献しています。



## X線撮影のスタンダード (レントゲン装置)

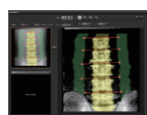
X線を用いて胸や骨などを撮影する検査に使用されます。近年は様々なアプリケーションとの組み合わせやスムーズな検査を支援する機能を拡充しています。



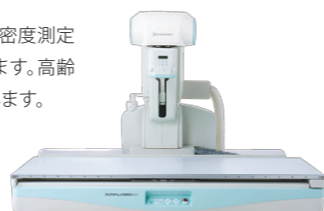
一般撮影システム

## 健康長寿のために

消化管造影や内視鏡検査だけでなく、骨密度測定などの整形外科領域の検査にも対応できます。高齢化社会における骨の健康増進をサポートします。



AI技術を活用した骨密度計測



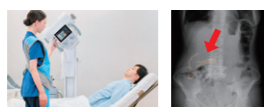
X線TVシステム

## 病棟内を移動し ベッドサイドで画像確認

病棟のベッドサイドをはじめ、院内の様々な場所でX線撮影ができ、搭載モニターに表示される参照画像をその場で確認できます。感染症病棟や災害医療の現場、手術室、救命救急など、多様な医療シーンの画像診断を迅速にサポートする装置です。



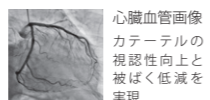
回診用X線撮影装置



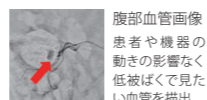
AI技術を活用し、手術後の体内遺残物確認を支援

## 心臓・脳および全身の血管のカテーテル治療支援

動脈硬化により狭くなった血管を拡張したり動脈瘤を塞ぐカテーテル治療で、独自の画像処理技術を用い、患者負担の少ない治療を支援します。



心臓血管画像カテーテルの視認性向上と被ばく低減を実現



腹部血管画像患者や機器の動きの影響なく低被ばくで見たい血管を描出



血管撮影システム

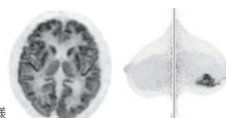
## 認知症・乳がんの診療を支える

検出器を頭部撮像モードと乳房撮像モードに切り替えることで、頭部・乳房両方の検査が行えます。高性能検出器が高精細画像を提供し、頭の検査ではアルツハイマー型認知症の診断に貢献します。また乳房検査では、乳房を挟まない痛みが少ない検査で乳がん診療に寄与します。



頭部・乳房用TOF-PET装置

頭部および乳房画像データご提供：近畿大学高度先端総合医療センターPET分子イメージング部様



# 産業機器

ターボ分子ポンプや高度な油圧技術を駆使した機器など、高品質・高精度なキーコンポーネントを提供。産業の発展に幅広く貢献することで、持続可能かつ強靱なインフラ開発の推進などに寄与しています。



## 半導体やディスプレイの製造に

半導体やフラットパネルディスプレイなどの製造プロセスに欠かせない真空環境をつくり出す真空ポンプです。



ターボ分子ポンプ

## 自動車や半導体分野で用いられるセラミックスの製造に

真空・加圧下で熱処理し、金属やセラミックス素材などを焼き固め、強度と一定の形状を得る装置です。食品の風味向上・栄養素保持技術としても注目されています。



真空加圧焼成炉

## 産業車両や建設機械の油圧動力源

産業車両(フォークリフト)をはじめ、建設機械、特装車両、農業機械などの油圧源として、幅広く活用されています。



油圧歯車ポンプ

## 産業車両の動力系として

油圧歯車ポンプから送り出された作動油の方向、圧力、流量を制御する機器です。当社製品は産業車両(フォークリフト)で活用されています。



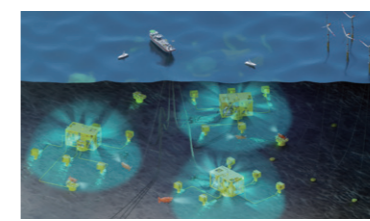
油圧コントロールバルブ

## 安全かつ効率的な海洋開発のために

半導体レーザー(LD)の技術を活用した水中光無線通信装置を始めとする海洋機器にも取り組んでいます。従来、無線では音響を用いた少量のデータ通信しか行えなかった水中で、LDを用いることで4G並みの高速通信を可能にする製品です。洋上風力発電や海底資源など注目が集まる海洋分野において、「水中作業のリモート化による安全性向上」「効率化によるCO2排出量の削減」に貢献します。



水中光無線通信装置

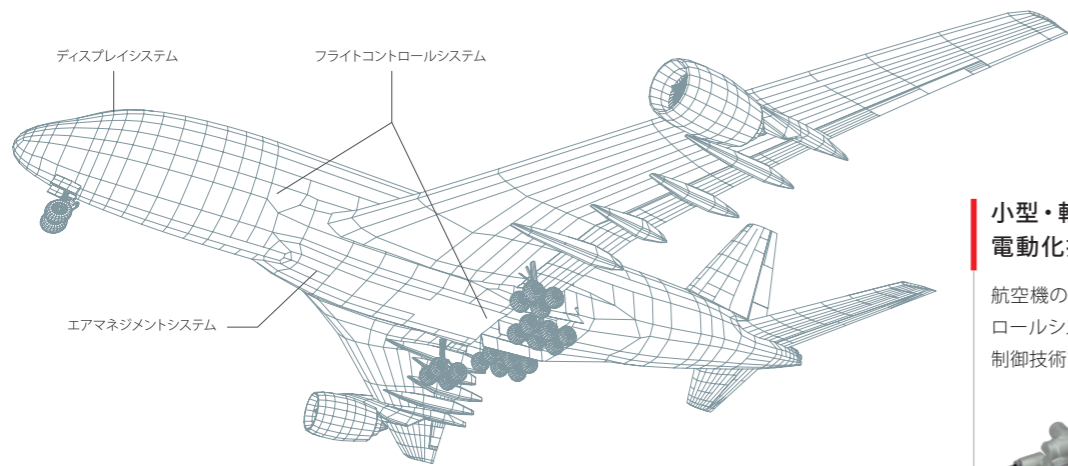


イメージ



# 航空機器

飛行制御や空調、  
コックピット分野において、  
先端技術と高度な精密加工技術を用いた  
機器やシステムを提供。  
パイロットの負荷軽減から  
搭乗者の快適性向上、  
安全性の確保・環境負荷低減を  
追求しています。



## 小型・軽量化技術、 電動化技術で航空機の環境負荷軽減に貢献

航空機の揚力や機体姿勢などを制御するフライトコントロールシステム。高品質なメカニカル技術や高信頼性の制御技術で安全な飛行に貢献します。



フライトコントロールシステム

## 運航の安全性・ 信頼性向上のために

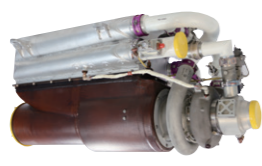
外景を重ねてさまざまな飛行情報を提示するHUD (Head Up Display)、HMD (Helmet Mounted Display) など、高度な電子技術と光学技術を駆使したディスプレイシステムを提供。パイロットの負荷軽減、飛行安全に貢献します。



ディスプレイシステム

## 機内の環境を 快適化

航空機内の温度と圧力を調整するエアマネジメントシステム。機内環境を総合的に最適化する設計・評価能力で快適環境の提供に貢献します。



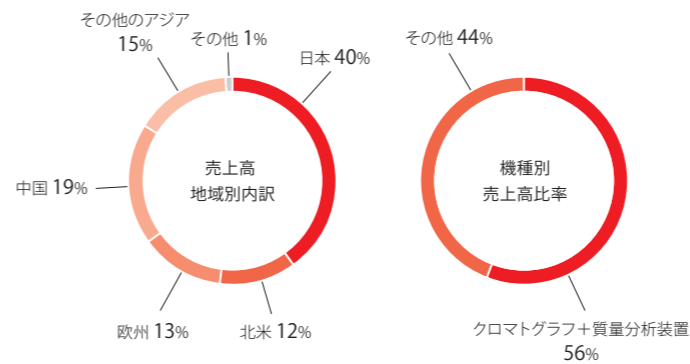
エアマネジメントシステム



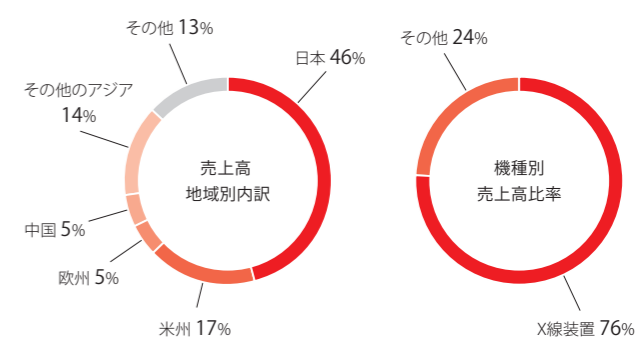
## 事業セグメント別 売上高構成比率



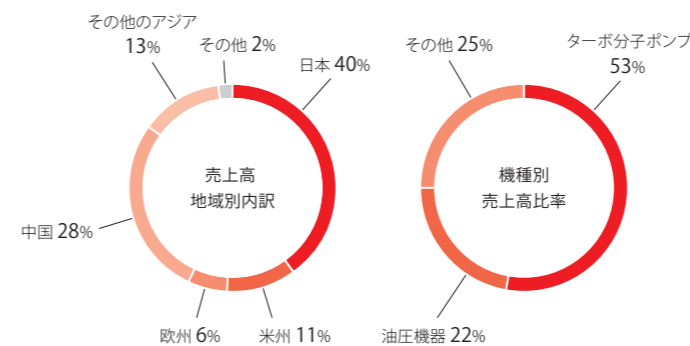
### 計測機器



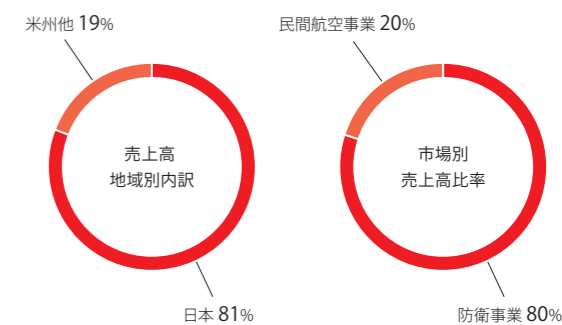
### 医用機器



### 産業機器



### 航空機器



# 島津グループの価値創造と共創プロセス

社は「科学技術で社会に貢献する」に基づいて社会課題と向き合い、  
 基盤技術研究や製品・アプリケーションの開発をおこなっています。  
 また、他企業やスタートアップ、アカデミアなど社外パートナーとの共創を積極的に進め、  
 革新的・先進的な技術・製品の開発や新たなサービスの社会実装に取り組むとともに、  
 事業化を迅速に進めるためのインキュベーション強化にも取り組んでいます。

## 各国のパートナーと課題解決に取り組む

さまざまな国・地域で社会の課題やニーズが多様化する中で、必要とされる新たな  
 技術やイノベーションの創出に向けて世界各地に拠点を設け、さまざまなパート  
 ナーとともに課題解決に取り組んでいます。



## コア技術の深耕や新技術の獲得・創出に取り組む

基盤技術研究所内の「Shimadzuみらい共創ラボ」では、先端分析、脳五感、革新バイオ、  
 AIなどの研究開発を推進。研究者や技術者たちの社内外交流も活性化させることで、  
 オープンイノベーションの促進をはかっています。



先端分析

イオン（MS）・X線・光・量子などの分野で世界初の  
 技術を開発して顧客課題や社会課題の解決に貢献  
 することを目指します。また、先端分析装置からの  
 多種多様な情報を同時計測し高度に解析する  
 "Whole Analysis" 技術を目指します。



革新バイオ

技術革新が著しいバイオ領域で高度な技術の獲得・  
 開発を行って、顧客課題や社会課題の解決に繋  
 げていきます。革新バイオ技術によって予防医療や  
 早期診断、再生医療、バイオプロダクトなどの領域  
 で新しい顧客価値を生み出すことを目指します。



脳五感

脳五感計測技術として、低拘束での脳機能計測や五  
 感刺激と連携させたバイオフィードバックによる介  
 入技術、またヒトのパフォーマンスを向上させる技  
 術や心理面の増進をサポートする技術などの脳と五  
 感の複合計測の技術開発を行います。

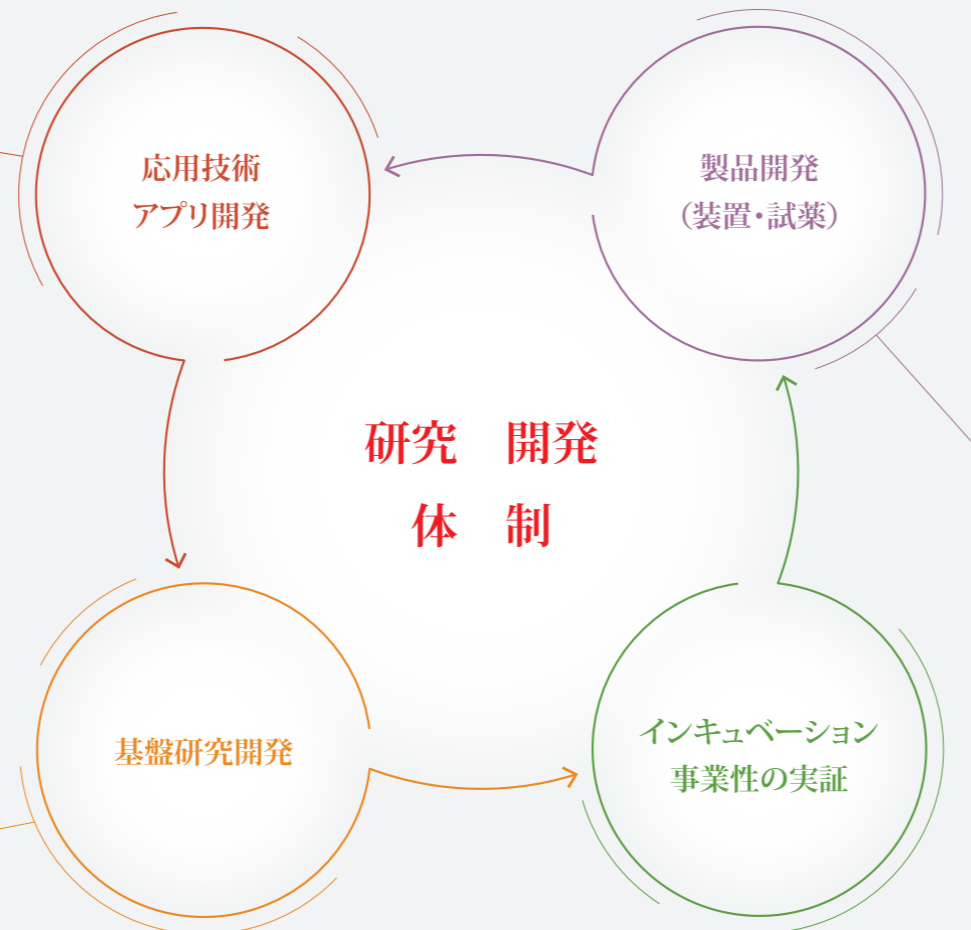


AI

AIを活用した信号処理・画像処理の研究開発を通  
 して、高度な製品・サービス・新事業を創出し、顧  
 客課題や社会課題に対するソリューションを提供  
 します。また、AI技術とロボティクス技術の融合に  
 より、分析・計測・診断・検査の自動化・自律化を進  
 んでいきます。

## 社会課題を解決するソリューションを開発・提供する

ヘルスケア関連部門を集約し製品開発を加速。また、保有する技術や共同研究を広く紹介して議論する共創空間「KYOLABS（キョウラボ）」を設け、  
 社外パートナーとともに革新的な製品やソリューション、新事業の創出を目指しています。



## 応用技術アプリ開発

### 国・地域の数だけ存在する課題やニーズに応えるために

世界各地でさまざまなパートナーと共同開発やイノベーション創出に取り組  
 んでいます。特に米国では、3拠点のR&Dセンターを通じて、製薬・ヘルスケア  
 関連企業や環境分野などの顧客ニーズの的確な把握と、製品・技術の開発を  
 加速します。米州・欧州・中国・アジア・日本の各拠点で先進的顧客と共同研究  
 を推進することで、素早く成果に結びつけています。

#### 北米

米製薬団体との共同開発で研究開発現場の  
 ニーズを反映したセミ分取超臨界流体クロ  
 マトグラフを開発。



ワシントン大学と共同で健康寿命延伸に向  
 けた測定技術を開発。



#### 欧州

仏トタル社および欧州2大学との共同研究  
 によりバイオ燃料の含酸素成分を選択的に  
 検出する世界初の新製品を開発。



#### 中国

中国科学院大学と共同でPFASなど環境規  
 制ニーズに沿った開発を推進。



#### アジア

シンガポールの科学技術研究庁や国立病  
 院、現地大学・顧客と臨床分野や食品安全、  
 環境関連の共同研究を推進。



#### 日本

東北大学と超硫黄生命科学共創研究所を開  
 所。早期診断技術や治療効果予測、医薬品・  
 機能性食品開発に貢献。



## AI技術の活用

### ロボットとAIが自律的に科学的な発見をするプラットフォームの実現へ

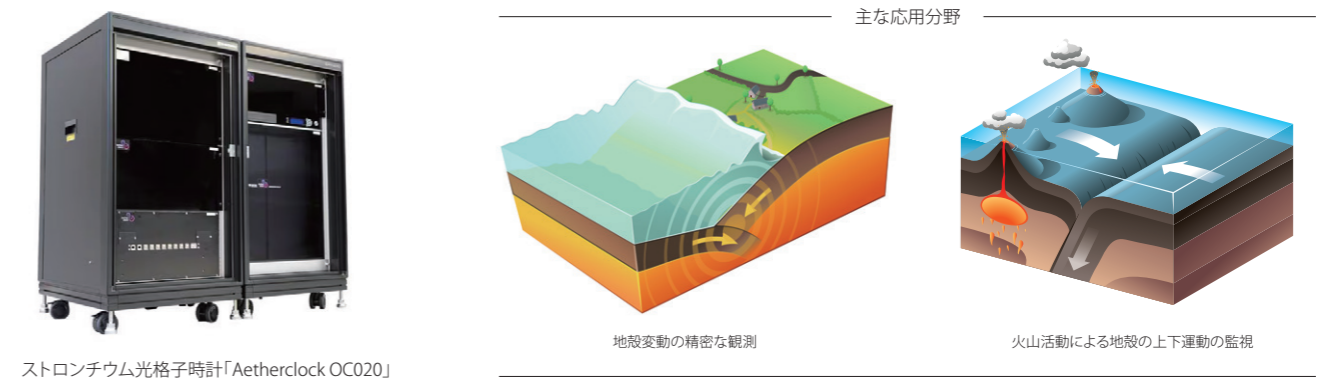
神戸大学と共同で世界で初となるロボットとデジタル技術、AIなどを活用した自律型実験システム (Autonomous Lab) プロトタイプを開発して、細胞培養から前処理、測定、分析、仮説立案を自律的に繰り返し実行させる実証実験を行い、有用性の実証に成功しました。バイオ技術とデジタル技術の融合により、石油や天然ガス由来のものづくりから、バイオ技術を活用したものづくりへの移行を可能にし、化石燃料の不使用やCO<sub>2</sub>排出量の削減につなげます。当社は、バイオ・製薬・新素材開発などに液体クロマトグラフ (LC) および液体クロマトグラフ質量分析計 (LCMS) を含む自律型実験システムの社会実装を目指しています。



## 次世代の時間計測技術の実用化へ

### 世界初、小型化に成功した光格子時計を発売

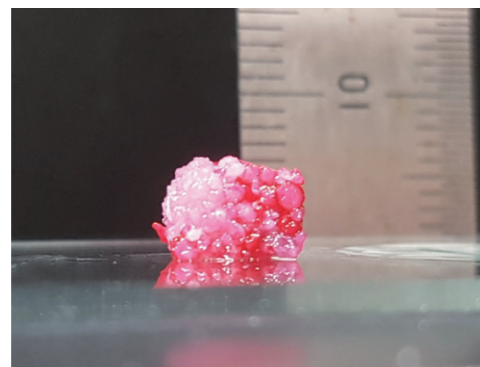
当社は2017年から東京大学大学院工学系研究科物理工学専攻の香取秀俊教授らのグループと共同研究を開始し、2025年3月、18桁精度に相当するストロンチウム光格子時計「Aetherclock OC020」(イーサクロック) を発売しました。光格子時計は原子時計の一種で、現在の「秒」の定義の基準となっているセシウム原子時計に対して100倍以上の精度を実現します。今後の社会実装により、数時間から数年かけて起こる地殻変動 (標高変化) の精密な観測、超高精度な標高差計測・測位システムの確立など、将来の社会基盤となることを期待されています。



## バイオエコノミー

### 3Dバイオプリント技術で環境、食糧、健康などの社会課題の解決を目指す

当社は大阪大学らと2022年に「3Dバイオプリント技術の社会実装」に向けた協業契約を締結しました。培養肉の自動生産装置、食味や噛み応えなどの分析手法や細胞培養に関わる研究開発を通じて、培養肉の実用化に取り組んでいます。2023年には、これを発展させて「培養肉未来創造コンソーシアム」を設立し、培養肉製造に関する社会実装を進めることで、食糧危機や環境問題へのグローバルな社会課題の解決に取り組みます。コンソーシアムでは、2025年日本国際博覧会 (大阪・関西万博) の大阪ヘルスケアパビリオンで、培養肉の実物およびミートメーカー (コンセプトモデル) を展示しました。



和牛の構造を再現した細胞培養肉



ミートメーカー (コンセプトモデル)

## フードテック

### 健康長寿社会の実現に向けた“食と健康”のイノベーション創出

当社と国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 (農研機構: NARO) は、2019年に共同研究契約を締結し、当社内に「食品機能性解析共同ラボ (NARO島津ラボ)」を設置。2022年には農研機構と食による健康長寿社会の実現を目指す「セルフケアフード協議会」を設立し、当社は事務局をしています。2023年からは、1200人を対象に10年間継続して食と認知機能の関係性を調査する“江別いきいき未来スタディ”を開始。2026年4月現在、食品メーカー9社 (カゴメ・森永乳業・はくばく・江崎グリコ・Mizkan・日清製粉グループ本社・キッコーマン・不二製油・エスビー食品) が協議会に加盟し、社会実装に向けた活動を展開しています。



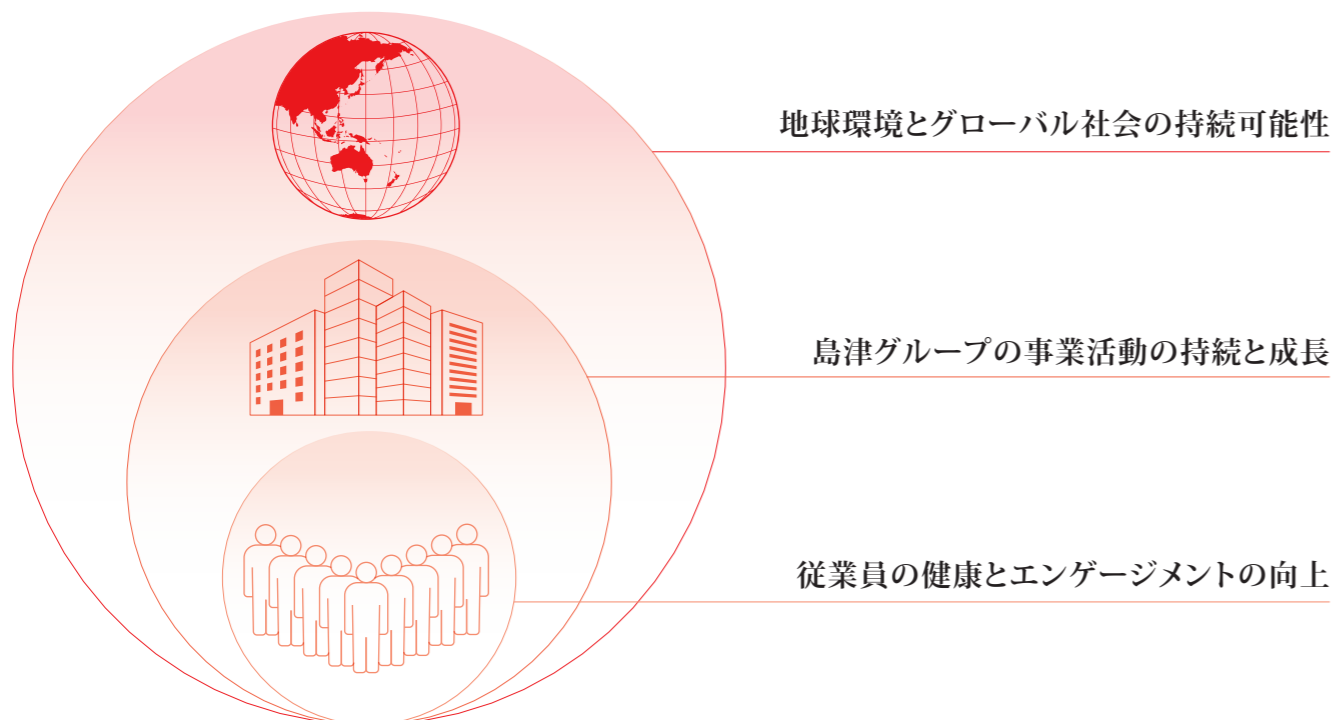
NARO島津テストングラボ



食品機能性解析共同研究ラボ「NARO島津」

## 島津グループのサステナビリティへの考え方

私たちは、創業以来、社会課題の解決に対して事業活動を通じて貢献するとともに、社会の一員としての責任を念頭に置いた企業活動を実践してきました。今後もサステナビリティ経営を実践していくにあたり、社是・経営理念のもと制定した島津グループサステナビリティ憲章において、3つの「サステナビリティ」に取り組んでいくことを定めています。



憲章の下、私たちは企業活動において重要な課題を6つのマテリアリティとして定めており、「島津グループサステナビリティ経営実施方針」を通じて、中期経営計画とマテリアリティに対する取り組みテーマを連動させています。

マテリアリティの取り組みテーマに関するKPIを毎年策定し、島津グループサステナビリティ会議において、結果を評価しています。

- |                |                            |                         |
|----------------|----------------------------|-------------------------|
| 6つの<br>マテリアリティ | 1   人の命と健康への貢献             | 2   地球の健康への貢献           |
|                | 3   産業の発展、安心・安全な社会の実現への貢献  | 4   お客様のワークフローへの提供価値最大化 |
|                | 5   人的資本とAIを活用した強固な経営基盤の構築 | 6   ガバナンスの実効性の向上        |

### 島津グループサステナビリティ憲章

地球・社会・人との調和を図りながら、“事業を通じた社会課題の解決”と“社会の一員としての責任ある活動”の両輪で企業活動を行い、明るい未来を創造します。

<https://www.shimadzu.co.jp/sustainability/management/concept.html>



## 事業を通じたサステナビリティへの貢献

### 環境経営

島津グループは、創業以来の経営理念「『人と地球の健康』への願いを実現する」を基盤に、環境課題の解決を経営の重要課題と位置づけ、環境経営を推進しています。

気候変動や資源制約、生物多様性の喪失といった地球規模の課題に対し、自社の事業活動とバリューチェーン全体を通じて環境負荷の低減を図るとともに、事業活動を通じて環境・社会課題の解決と企業価値の向上を両立させ、持続可能な社会の実現に貢献します。

### 島津グループの環境経営3つの柱

#### ①カーボンニュートラルの実現に貢献

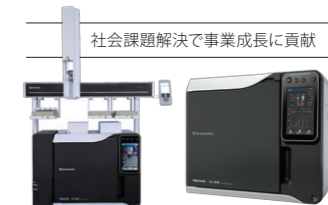
事業活動と製品・サービスを通じてCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。再生可能エネルギーの導入や省エネを進めるとともに、環境負荷低減に貢献するソリューションを提供しています。



再生可能エネルギー使用



消費電力の見える化



GHGアナライザー (農業等でのGHG削減) 水素ガス中の不純物分析 (新エネルギー開発)

社会課題解決で事業成長に貢献

#### ②サーキュラーエコノミーの実装

3R (リデュース・リユース・リサイクル) を推進し、廃棄物の削減と資源の有効活用に取り組んでいます。製品の設計から使用、廃棄までを見据え、資源循環型の社会づくりに貢献しています。



プラスチック梱包材を再生して作った廃液容器



製品の長寿命化 試験機のリフレッシュ



当社製品の自社再生品 リファービッシュ

#### ③ネイチャーポジティブの実現に貢献

生物多様性の保全を重要な経営課題と位置づけ、事業活動による環境負荷低減と価値創出に取り組むとともに、森づくりや環境教育を通じて自然環境の保全を進めています。



排水管理



小学校などへの環境出前講座



国内外で環境保全活動を実施

### カーボンニュートラルの実現を目指して

CDPの2025年度調査において、「気候変動」分野で最高評価「Aリスト」に選定されました。事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量削減目標、SBTから1.5℃目標の認定を取得し、100%再生可能エネルギーでの事業活動を目指すRE100にも取り組んでいます。



### 環境省の「自然共生サイト」に認定

「自然共生サイト」とは、民間の取り組みにより生物多様性の保全が図られている区域を国が認定する制度です。本社・三条工場内の「島津の森」は同サイトに認定され、OECMとして国際的にも登録されており、生物多様性の保全とネイチャーポジティブの実現に貢献しています。



## 多様な人材の活躍推進

### 産学連携でグローバルな専門人材の育成を目指す

当社と大阪大学は、2021年から当社の技術者・研究者の博士号取得を支援する「REACHラボプロジェクト」を進めています。大阪大学・島津分析イノベーション協働研究所に設けた「REACHラボ」に社内公募した社員を派遣し、卓越した研究者の下で、博士後期課程学生として共同研究に取り組んでいます。2023年からは人材の獲得と社会実装を推進するリーダーを育成するため「REACHプロジェクト」に発展させました。大阪大学大学院の学生を修士課程修了時に当社で採用し、博士後期課程に社員として派遣し共同研究を行います。研究対象の範囲も従来の理系から文理融合分野・人文社会科学系にも広がっています。



## 健康経営・ダイバーシティ (DEIB) 経営

### ありがたい姿「違いを認め、一人ひとりの強みを組織の力へ」の実現

当社では、ダイバーシティ推進を一人ひとりが持つ強みや専門性を発揮することで、社会課題の解決に繋がるイノベーションを創出することができる経営戦略の重要な柱の一つと位置付け、DE&Iグローバルスローガンを定義しています。多様な人材の確保だけでなく、イノベーションの創出につなげる次の段階へと進めるなか、役員や管理職を対象としたダイバーシティ・マネジメント研修や、意思決定層の多様化を目指した女性従業員のリーダーシップ研修など具体的な取り組みを実施しています。当社は経済産業省「なでしこ銘柄」に7回選定されたほか、プラチナくるみん、えるぼし三ツ星など各種社外評価を受けています。

### 社員とその家族が心身ともに健康であるために

当社では、運動・食事・睡眠・こころ・禁煙の5つのテーマを重点課題として、社員とその家族が日々の生活をいきいきと過ごせるよう健康維持増進活動を行っています。特に健康イベントの参加促進、全面禁煙の取り組みに加え、自社技術の還元として、乳房専用PET装置を用いた乳がん検診を、40歳以上の女性社員あるいは40歳以上の女性配偶者を対象に、また、軽度認知障害 (MCI) のリスクを判定する「MCIスクリーニング検査プラス」を、2024年度からは40歳以上の社員だけでなく家族も対象に受診費用補助を行っています。当社は「健康経営銘柄2026」に3年ぶり4度目の選定、健康経営優良法人ホワイト500に10年連続認定されています。



## サプライチェーンマネジメント

### 取引先との共生とパートナーシップの構築

当社グループでは、製品の製造において、多くの取引先からグローバルな調達を行っています。調達は事業活動の基盤を支えるものと位置づけ、「共生とEQCD (環境・品質・価格・納期)」を取引の基本とし、公正な取引、取引先とのパートナーシップの構築、CSR調達の推進を行っています。特にCSR調達は、調達ガイドラインを制定・公開し、「人権・労働」、「安全・衛生」、「環境」、「倫理」、「BCP (事業継続計画)」の各分野について、当社と取引先が共に社会的責任を果たすために取り組むべき事項を定めています。

また、サプライチェーンのすべてにおいて人権の尊重、環境負荷低減に努めています。

具体的には、人権デューデリジェンスの体制構築やScope3 (スコープ3) の排出量削減の取り組みなどを推進していきます。その他、各国の製品含有化学物質規制や紛争鉱物対応においても、国際的な枠組みに則った社内体制を構築しています。



## ガバナンス改革

### コーポレートガバナンスの強化

当社は島津グループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指し、2015年に「コーポレートガバナンス・ポリシー」を制定しました。さらに、取締役会の任意の諮問機関として、指名・報酬委員会を2018年に設置しています。当委員会は、取締役等の報酬額の決定や、取締役会決議に先立つ役員候補者の指名・選任に関する審議・答申を行っていますが、委員の過半数を独立社外取締役とし、原則として議長を独立社外取締役とすることで客観性・透明性を高めています。社外取締役には、幅広い業界・経歴を持つ人材を選任し、多様な取締役会の構成としています。さらに、取締役会の実効性評価を毎年実施し、その結果を踏まえた継続的な改善に取り組むとともに、役員スキルマトリックスを開示することで取締役会の構成に係る透明性の向上に努めています。また、「コンプライアンスは全てに優先する」を基本として、グループ全体でガバナンスの強化、組織と風土の改革を推進しています。

### コーポレートガバナンス体制

組織形態	監査役会設置会社
取締役の人数 (社外取締役)	7名 ※女性2名含む (4名 ※うち独立役員は4名)
監査役の数 (社外監査役)	4名 (2名 ※うち独立役員は2名)
取締役会の議長	会長 (社内取締役)
取締役の任期	1年
指名・報酬委員会	人数6名 (社外取締役4名) ※議長は社外取締役が担当
執行役員制度の採用	有 ※取締役会で選任
会計監査人	有限責任監査法人トーマツ

## CSR

### 日本の優れた研究者への島津賞・研究開発助成

#### 島津科学技術振興財団

科学技術、主として科学計測およびその周辺の領域における基礎的な研究において、功労者を表彰する「島津賞」や若手研究者への「研究開発助成」など、島津科学技術振興財団はさまざまな支援活動を通じて日本における科学技術の振興に貢献しています。



### 医療従事者の育成

#### 学校法人島津学園 京都医療科学大学

X線装置のパイオニアである当社が、日本初のレントゲン技師 (現診療放射線技師) の正式養成機関「島津レントゲン技術講習所」を1927年に創設し、その後2007年に京都医療科学大学として開学。創立以来4,000名を超える卒業生が全国の医療機関で活躍しています。



### テニスを通じた社会貢献活動

当社では、テニスを通じた社会貢献活動に力を入れています。日本テニス協会主催の3大トーナメントのひとつ「島津全日本室内テニス選手権大会」への特別協賛やジュニアテニス教室の開催など、日本のテニス界の発展、地域の振興をサポートしています。



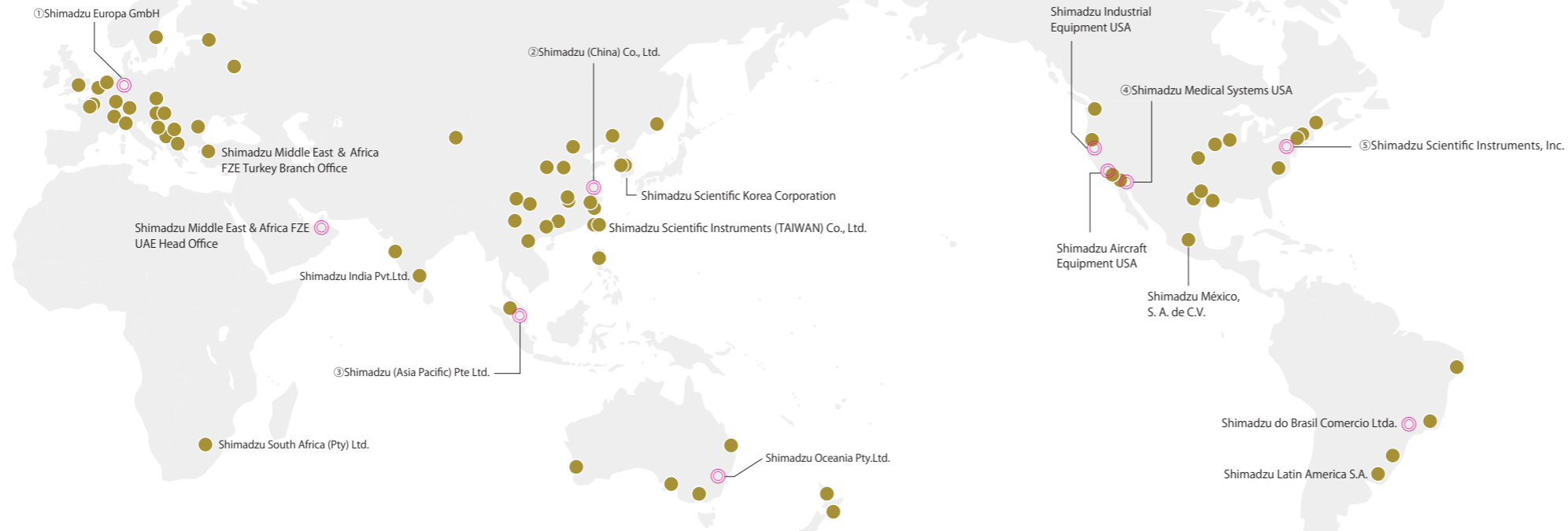
### 科学への興味を広げる島津ぶんせき体験スクール

小・中・高校生に「理科や科学に興味を持ってもらう“きっかけ”を提供したい」という思いから、当社製品の関連技術をテーマにした科学スクールを2007年から継続して開催しています。これまでに9,000名を超える子供たちが、分析計測装置を使った実験やモノ作り体験に参加しました。アメリカ、イギリス、ドイツ、中国、シンガポール、マレーシアなど当社の海外拠点でも開催し、科学技術で社会に貢献する人材を育成しています。



販売・サービス体制

- 地域統括
- 販売・サービス

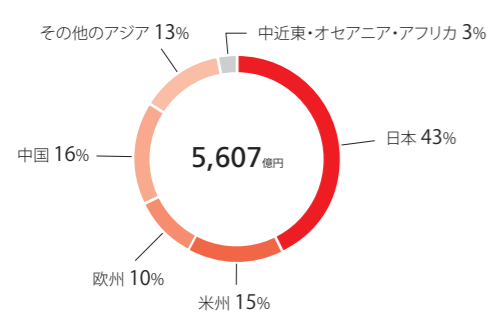


製造・研究開発体制

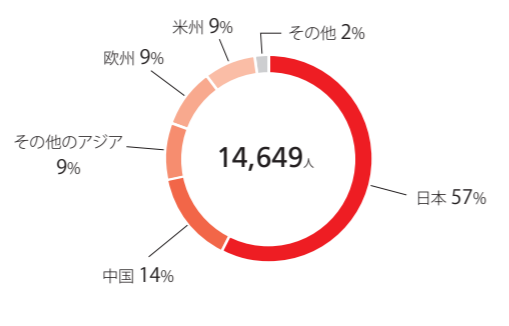
- アプリケーション開発
- 製造
- 研究・開発



地域別売上高比率



従業員構成比率



海外拠点案内はこちら


<https://www.shimadzu.co.jp/aboutus/company/sub.html#02>



北米

Shimadzu U.S.A. Manufacturing, Inc.

- ガスクロマトグラフ質量分析計
- 液体クロマトグラフ質量分析計



アジア

島津儀器(蘇州)有限公司

- 液体クロマトグラフ
- 全有機体炭素計
- 原子吸光分光光度計



Beijing Shimadzu Medical Equipment Co., Ltd.

- X線TVシステム
- 一般撮影システム
- 回診用X線撮影装置



欧州

Kratos Analytical Ltd. (英国)

- 質量分析計
- X線光電子分光分析装置



Shimadzu Chemistry and Diagnostics SAS

- 安定同位体試薬



Shimadzu Manufacturing Asia Sdn. Bhd.

- 液体クロマトグラフ
- 紫外可視分光光度計



Shimadzu Philippines Manufacturing Inc.

- 電子天びん



天津島津液圧有限公司

- 油圧歯車ポンプ

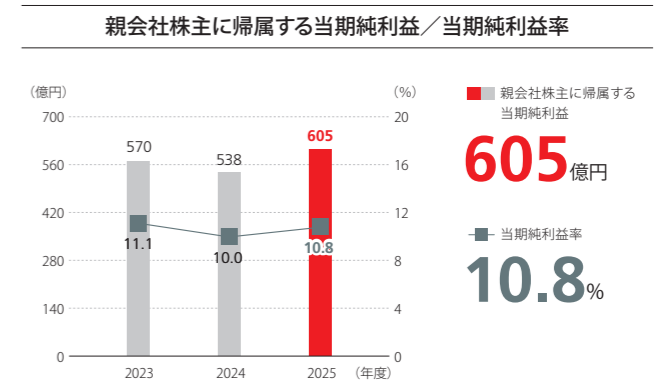
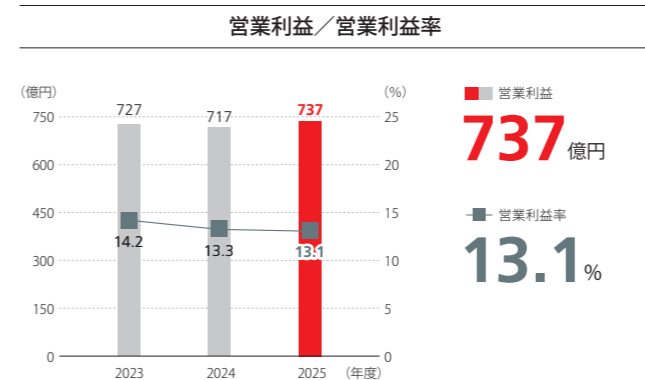
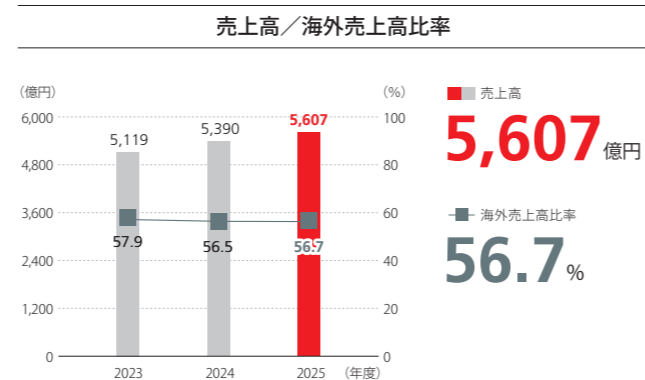




会社概要

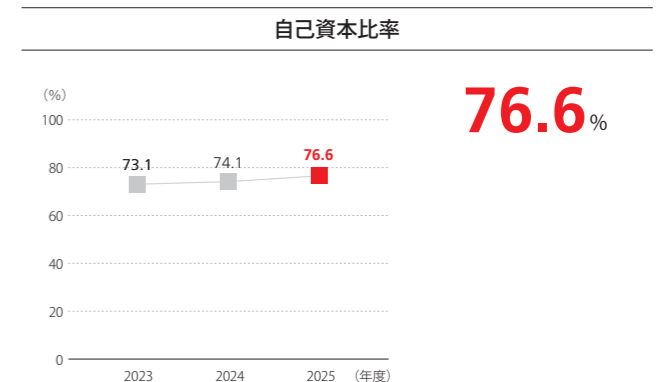
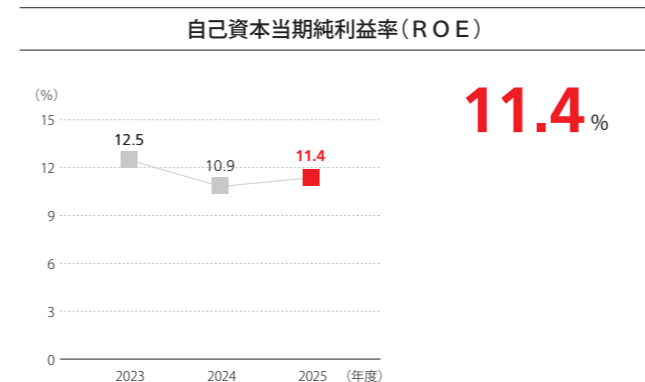
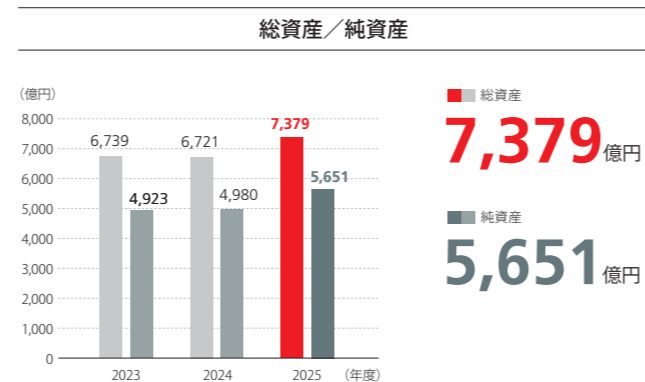
商号 …… 株式会社 島津製作所  
Shimadzu Corporation  
創業 …… 1875 (明治8) 年3月  
設立 …… 1917 (大正6) 年9月  
本社所在地 …… 〒604-8511  
京都市中京区西ノ京桑原町1番地  
電話番号 075-823-1111 (代表)  
資本金 …… 約266億円  
従業員 …… 単独3,779人/連結14,649人  
連結子会社数 …… 国内21社/海外56社  
(2026年3月31日現在)

財務ハイライト



役員

取締役  
代表取締役 … 上田 輝久  
代表取締役 … 山本 靖則  
取締役 … 渡邊 明  
社外取締役 … 花井 陳雄  
社外取締役 … 中西 義之  
社外取締役 … 濱田 奈巳  
社外取締役 … 北野 美英  
監査役  
常勤監査役 … 小谷 崎 眞  
常勤監査役 … 山田 洋一  
社外監査役 … 西本 強  
社外監査役 … 林 由佳  
(2026年6月26日現在)



## Excellence in Science

SHIMADZU ブランドの製品・サービスを利用するすべての方に対して、私たちは何をお届けできるか。何を提供すべきか。それを一言に凝縮したのが、島津グループブランドステートメント "Excellence in Science" です。

私たちの製品・サービスは、お客様がさまざまな新製品を開発するために、また環境の保全や改善のために、あるいは人々の健康や暮らしをより良くするために、世界中で用いられています。

このブランドステートメントは、その誇りを胸に刻み、これからもさらに優れた技術・製品・サービスを提供できるよう、いっそうの技術の研鑽、知識の集積につとめ、「科学において卓越した存在」と呼ばれるだけの力を持つことを、社会と自らに約束するものです。

株式会社 島津製作所

〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町1  
<https://www.shimadzu.co.jp>